

公表日 令和7年3月10日

利用児童数 39 回収数 28家庭

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未記入	計	頂いた主なご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	3	－	3	－	45	・庭や学校が近くにある為、外遊びもできる。	・今後も庭や学校や公園などの外遊びを組み合わせたいと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	－	－	6	－	28		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境（※1）になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	1	－	5	－	28		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	1	－	2	－	28		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（※1）が作成されているか	26	－	－	2	－	28		
	⑥	活動プログラム（※2）が固定化しないよう工夫されているか	22	2	－	4	－	28		
	⑦	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	2	1	12	－	28		
保護者への説明等	⑧	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	2	－	2	－	28		
	⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	1	－	2	－	28	・写真などよく見せてもらうので、デイサービスでの様子が分かりやすい。	・ぶらんこ内での様子をお伝えするのに写真だと分かりやすいと思い、おたよりなどを通して活用させていただいています。
	⑩	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	－	4	－	28		
	⑪	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	6	1	13	－	28		
	⑫	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	1	－	2	－	28		
	⑬	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	－	－	1	－	28		
	⑭	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	－	－	3	－	28		
	⑮	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	1	－	3	－	28		
非常時等の対応	⑯	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	2	－	5	1	28		
	⑰	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	1	－	4	1	28		
満足度	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか	24	2	－	－	2	28	・とても楽しくしているように感じます。	・ありがとうございます。
	⑲	事業所の支援に満足しているか	24	2	－	1	1	28		
その他	⑳	ライフサポートファイルを活用しているか	12	2	10	2	2	28	・ライフサポートファイルなかなか手がつけられてないです。	・ライフサポートファイルについては、まずは事業所や学校や病院の情報（個別支援計画など）をまとめて置くことをおすすめします。活用方法等、個別に聞きたい場合は濱田までご相談下さい。
		ご意見・ご要望等ありましたらご記入下さい	・いつもありがとうございます。 職員さんは皆優しく、子どもは楽しく利用させていただいてます。 ・満足しているので特にありません。 ・まだ検温は必要ですか？						・検温に関しては、体調の変化を見ていく上で重要と考え、中には自分で体調不良を訴えられないお子さんもいますので、継続して行えたらと思います。 今後ともご協力お願い致します。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	工夫している点、または今後の改善内容・改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	〈ぶらんこ〉 平成14年の開所当初からの建物で、利用人数が多い時には手狭になってしまふことがあるが、外遊びなどを組み合わせて調整している。 外遊びでは、中庭で遊んだり、近隣の公園へ遊びに行っている。 また小学校の校庭を利用して、放課後でも気軽に外遊びができ、サッカーや野球など力加減を気にせず思い切って遊ぶことができる。 〈木馬〉 ぶらんこに比べ、プレイルームや和室と部屋が大きく2つに分かれていて広さもあり、雨の日でも走り回って遊ぶこともできる。 すぐ近くに風の村の広場もあり、徒歩で移動して外遊びに行くこともできている。 〈共通〉 お子さんによって遊びたい活動が異なり、室内活動と室外活動を組み合わせて行っている。 長期休み中はぶらんこ・木馬と合同で昼食を食べているので、一時的に人が集まり密になってしまう時間帯があるので、怪我や事故がないよう目くばせをしていきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置は適切に行っている。 ただ、職員や職員の家族に体調不良者が出た場合には無理せず休めるようにしているため、状況により人手が不足する場合もある。 余裕を持って職員体制が取れるように職員を新たに雇用したり、学生のアルバイト・実習生・ボランティアの受け入れを積極的に行っていきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	出入口・トイレ・室内手すりなどの設置はできている。 また、おもちゃなど、写真やイラストを活用して視覚的に分かりやすい環境を整えて、片付けもしやすくなってきているが、より分かりやすい環境を整えていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	コロナ禍以降消毒や清掃の機会が増え、おもちゃ、室内の消毒作業を毎日続けて行っている。 手洗い場、キッチン周りや靴箱、車内等、清潔で心地よい環境にできるよう心がけていきたい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	月に1度、職員会議を開き業務改善に取り組んでいる。 また、別日に月に1度の個別のケース会議の時間を設け、児童の様子について共通理解を深めている。 ただ、個々の児童の成長の変化についてまだまだ時間が足りず共通理解できていない部分もあるので、時間を取って共通理解できるよう努めていきたい。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年度アンケート調査を実施して、保護者等の意向を把握できるよう努めているが、まだまだ業務改善につなげられていない部分もあるので、よりアンケート内容も変えていきながら、改善につなげられるようにしていきたい。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価の結果については、保護者に配布していると共に、法人のホームページでも公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在、外部評価は行っていないが、必要に応じて外部評価を行ったり、引き続き見学やボランティアまたは実習生の受け入れを積極的に行っていきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部の研修は少しずつ参加することも増えてきた。 内部の研修も資料をテレビの画面で共有して行うようにしている。 継続して研修の機会を設けていきたい。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者からのニーズだけでなく、日頃支援している中からもニーズを引き出す努力をして客観的に分析したうえで計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	今年度個別支援計画の形が変わり、アセスメントの形も変わっているが、まだまだ生かし切れていない状況である。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員同士が相談しながら活動プログラムを立案していたり、子どもからの要望を受けて、活動プログラムを検討している。
	⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	子どものやりたいこと、好きな活動を取り入れて活動している。また創作活動などを情報収集し、面白そうな活動を積極的に取り入れている。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	きめ細やかな課題の設定はしていないが、放課後活動を基本に考え、休日・長期休暇時には、放課後活動ではできない活動を設定して支援している。また長期休み中は、給食を通して食に対する課題とも向き合っている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動・集団活動を組み合わせで作成していないが、個々の子どもに合った計画を作成している。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	ホワイトボードを活用して一日の流れを表示して、役割分担など必要に応じて口頭にて確認している。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援時間内に主にスマホアプリ（LINE）での共有を行っている。また支援終了後は記録を作成する時に話し合ったり、伝達記録を残して次の日であったりケース会議の時に振り返りをして情報共有している。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個人記録や施設日誌で日々の支援の記録をとり、その記録をもとに月に一度のケース会議で振り返りをして支援の検証・改善につなげるようにしている。
	⑲	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	日々の支援から課題を見直すとともに、保護者からの面接・モニタリングを活用して、計画の見直しの必要性を判断している。
	⑳	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	ガイドラインの内容をまだ理解しきれていない。ガイドラインの内容について理解が深まるように、定期的に事業所内での研修を行っていききたい。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	関係者会議には適任者が参加できるようにしている。
	㉒	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校メール（マチコミ等）などで得られる情報は共有できている。ただ、学校ごとでばらつきがあるので、情報共有・連絡調整が不足している学校についてより連携が図れるように、事業所から積極的に情報開示していくと共に、学校側にも情報提供を求めている。
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	必要に応じて行い、少しずつ連携が取れるようになってきている。市の健康増進課やことばの教室などともより連携できるようにしていきたい。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	肢体不自由のお子さんの受け入れをしているが、経験としてはまだまだ不足していると感じている。 学校との連携からスタートし、その他の部分はライフサポートファイルを通して他の機関の情報把握に努めている。
	②⑤	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	肢体不自由のお子さんの受け入れをしているが、経験としてはまだまだ不足していると感じている。 主治医や協力医療機関と直接の連絡体制はまだないが、ライフサポートファイルを通して情報把握に努めている。
	②⑥	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援事業所との情報共有はあるが、保育所や幼稚園、認定こども園との情報共有はあまりないので、必要に応じて行っていきたい。 また、保護者からはライフサポートファイルを通して情報の提供をしてもらえよう声掛けしている。
	②⑦	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	卒業生や就労先の事業所からの相談等はないが、必要に応じて情報提供している。 また、ライフサポートファイルを活用してもらえよう保護者にも声掛けしていきたい。 卒業後の接点がなくなってしまうのが課題なので、まずはお便りや年賀状を最低20歳になるまでは続けていきたい。
	②⑧	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	自立支援協議会を通して児童発達支援センターなどの専門機関と連携し、研修等を受けている。
	②⑨	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	学校の校庭で遊ぶ時や近所の公園などで遊んでいる中で近所の子ども達と一緒に遊んだりして自然に交流できるようにしている。
	③⑩	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	八街市自立支援協議会のこども部会に在籍し、積極的に参加している。
	③⑪	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時や連絡帳または必要に応じて電話・メールを活用して行っている。 ただ、不足しているご家庭もあるかと思うので、相談しやすい関係づくりを心がけたり、必要に応じて面談の機会も作っていきたい。
保護者への	③⑫	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)は行っていないが、事業所での研修会を開いたり、自立支援協議会を通しての研修会などに参加のお誘いをしていきたい。
	③⑬	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	丁寧に説明をする努力をしているが、よりわかりやすく伝わるように努力していきたい。
	③⑭	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談に積極的に応じ、助言や支援をするとともに、相談しやすい環境づくりを心がけていきたい。 また相談の内容によっては相談支援事業所など専門の機関につなげていけるように支援していきたい。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	ライフサポートファイル作ろう会の開催を支援して、開催のお知らせをしている。 ただ平日開催ということもあり、参加できる方が限られている状況なので、保護者同士の交流できる機会を別途作っていきたい。
保護者への	③⑯	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	子どもや保護者からの意見はその都度対応するよう心がけている。 また、苦情に関しては、適切であるかは分からないが、誠意を持って迅速に対応するように努めている。

説明責任等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月おたよりを発行できるようにし、保護者の方に活動内容や連絡事項を伝えられるようにして情報を多く発信できるように努めている。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	契約時など事前に書面にて他の機関との情報のやり取りがある場合や、写真の掲載の方法などを確認して個人情報の取り扱いについて注意している。また、写真掲載については、同意書も頂いてはいるが、おたより以外で使用する際は再度確認をとっている。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	個々の適正に配慮して、場合によっては写真やイラストなどの視覚情報を活用して情報伝達のための配慮をしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	秋祭り等、行事を計画している。大がかりではなくともできることを考えていきたい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各マニュアルは策定しているが、職員への周知徹底、または保護者の方への周知が足りないと感じている。まずはホームページに掲載し、その他周知の方法を検討して、しっかり伝えられるようにしていきたい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練を2ヶ月に1度行うようにしている。内容については会議で振り返りをしていて、回数を重ねることでより深められるようにしていきたい。また、地震だけでなく火事や不審者対応等についての訓練も内容を深めて行っていきたい。
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	管理職が外部での研修に参加し、その後事業所内での伝達研修を行った。今後も定期的に行っていきたい。
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在、身体拘束を行う事例はないが、記録の様式を準備していて、今後やむを得ず行う場合には配慮して行っていきたい。
	④⑤	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	児童票を通して年度ごとに確認し、一覧表を作成して職員で共有をしている。また、薬は変更があったときに確認するようにしているが、できるだけ薬の説明書をもらえるよう声掛けしている。
	④⑥	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	児童票を通して年度ごとに確認し、一覧表を作成して職員で共有をしている。医師の指示書ではなく、保護者からの依頼で対応している。
	④⑦	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例の検証がなかなかできていないので、伝達記録に記録していき、職員会議の中で事例学習や改善策などの話し合いができるようにしていきたい。
その他		ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、誰もがわかりやすい環境づくりを心掛け、少しずつ改善している。例：月ごとの利用予定表をカレンダー型に変更して、予定が見やすいように改善した。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

令和6年度 事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	ぶらんこ・木馬			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～	令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内は人数が多いと手狭になってしまうが、中庭や学校の校庭や近隣の広場など外遊びをしやすい環境があること。	外活動は中庭や校庭など歩いて行ける場所だけでなく、車での外出で市内の公園や市外の公園にも遊びに行ったり、図書館や科学館・博物館など雨の日でも過ごせる公共の施設などに行けるように工夫している。	バスや電車など公共の交通機関を使ったお出かけなど、なかなか普段取り組めないような企画を立てていけるようにしていく。
2	開所当初から手作りによる給食を提供していて、家庭の味を味わってもらったり、食が広がるよう食育に取り組んでいる。	個々の好き嫌いを事前に把握し、個々の好みに合わせて調整したり、嫌いな物でも少しずつ味わっていき、年齢に応じて食が広げられるように工夫している。	子どもたちも食べたいものが食べられるようにリクエストを取り入れるようにしていく。
3	平成14年からの事業所で、地域に根付いて活動していることや、自立支援協議会こども部会に座長として長く携わっているので地域とのつながりが強いこと。	地域の学校や、近隣の放課後等デイサービス事業所や相談支援事業所との連携を図り、利用している児童や保護者の困りごとを連携を取って解決していけるよう工夫している。	近隣の放課後等デイサービスと相互に刺激を受けお互いの良さを伝え合ったり、培った技術や経験を広められるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在保護者会を設けていない為、保護者同士が顔を合わせ的机会や連携を取りづらいこと。	開所した当初は保護者同士の繋がりが強く保護者会も設けていたが、働きに出る保護者が増え継続が難しくなりました。保護者に負担をかける形にしたいくない思いもあるので、保護者会とは違う形で考えている。	保護者会の支援というよりは、年に1、2回ほど保護者同士の交流ができるような企画を立てられるよう取り組んでいきたい。
2	事業所の行事を開いていないので、地域住民を招待するという形では地域の方との関りはできていない。	地域住民を招待するというより、地域に出ていくことを考えているので、地域の行事により多く参加したいと考えている。	子ども達が住んでいる地域の行事に参加することで地域に興味を持つことや楽しみを持ってもらえるよう工夫していきたい。